

# 伊豆半島の地殻変動\*

## Crustal Deformations in the Izu Peninsula

建設省国土地理院  
Geographical Survey Institute

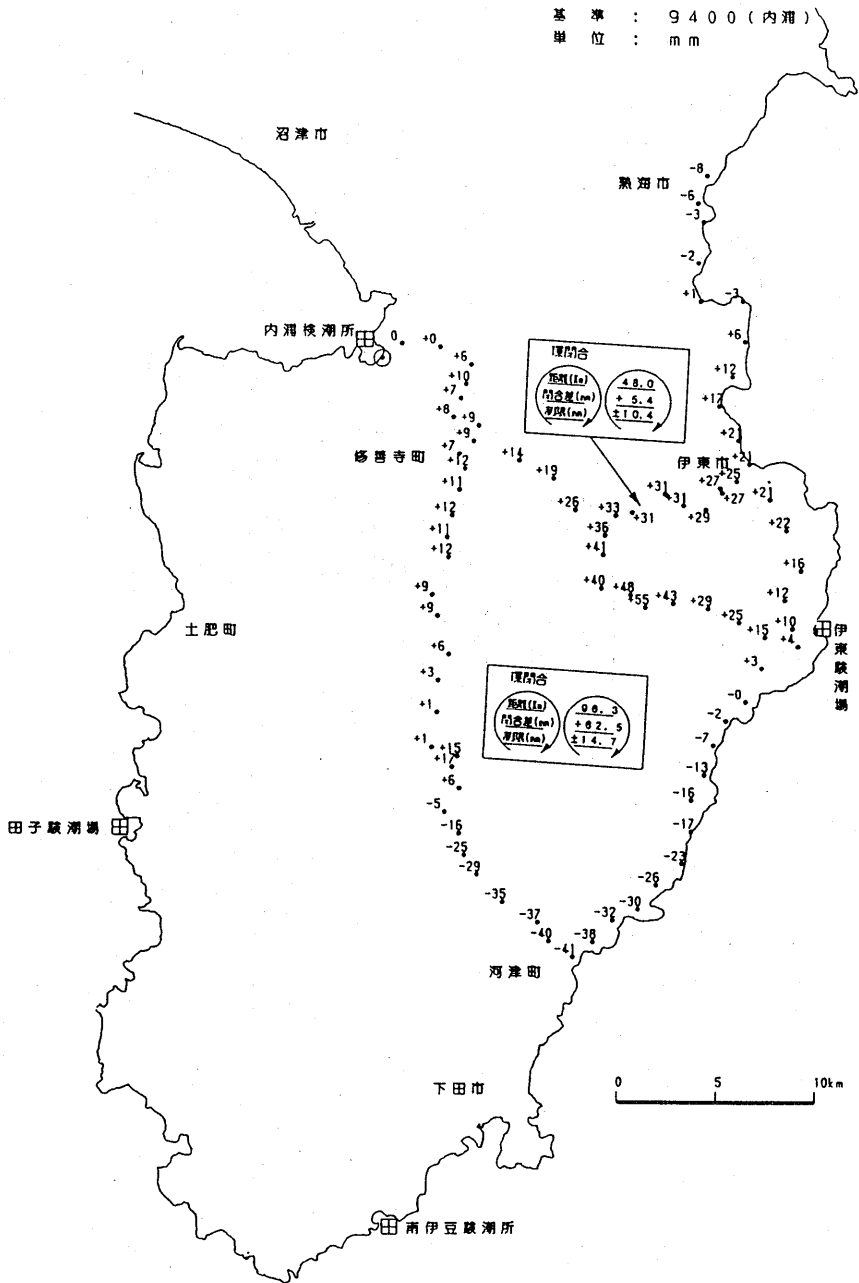
第1図は、伊豆半島における最近の水準測量結果を網平均計算して得られた上下変動図である。大室山西方において、5 cm 強の隆起がみられる。

第2図～第4図は、初島－伊東（GPS）、小室山－宇佐美（EDM）による連続辺長測量および伊東地区のGPS連続観測の結果（辺長及び比高）である。1993年5、6月の群発地震後、9月頃から初島－伊東、初島－宇佐美などでの縮み傾向、小室山－宇佐美、冷川峠－宇佐美などでの伸び傾向がみとめられたが、昨年末から鈍化し、最近は停止している。また、比高については、冷川峠、小室山などが初島に対して隆起する傾向にあったが、最近は停止している。

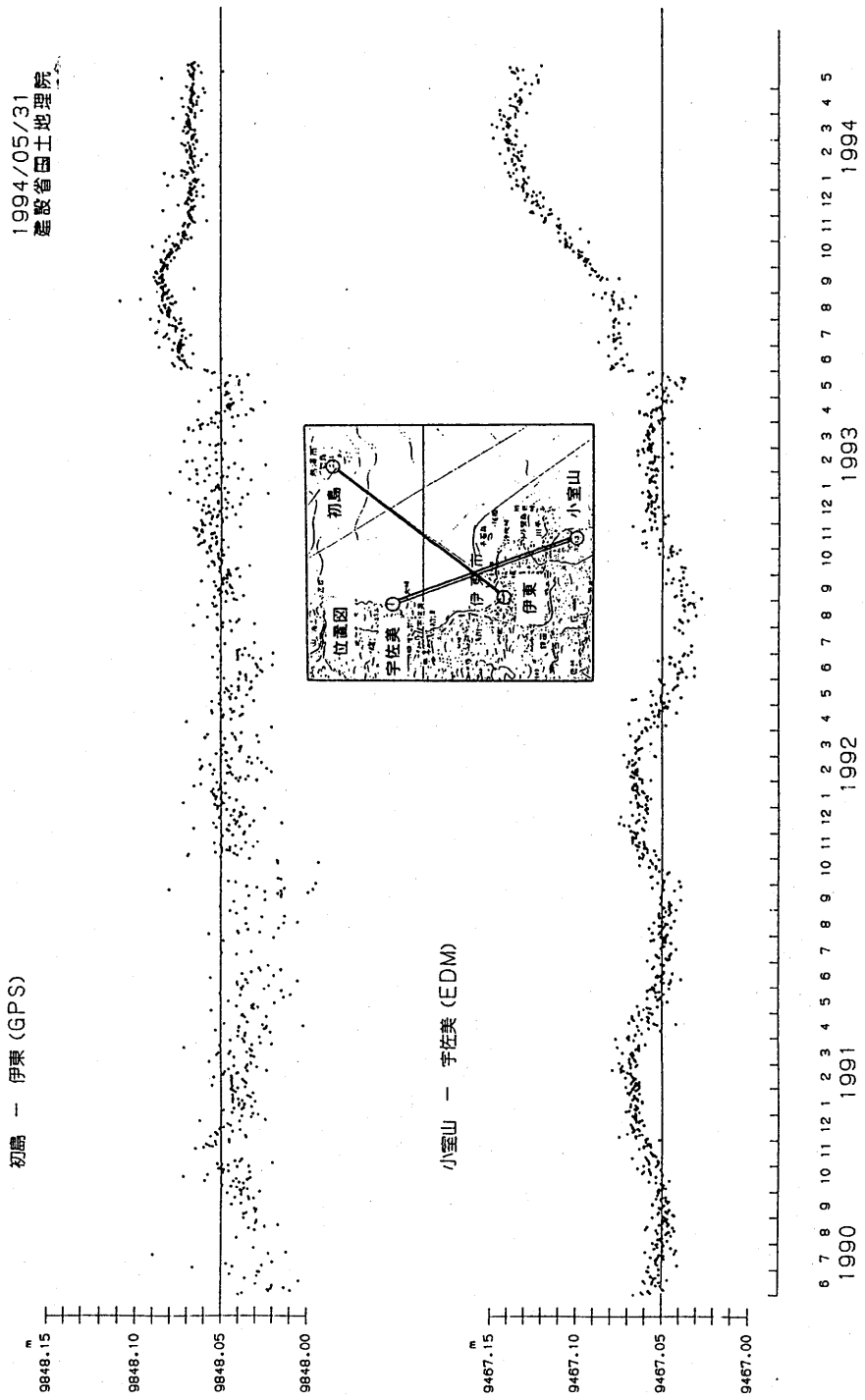
第5図～第7図は、油壺と伊豆地方の各験潮場との月平均、日平均潮位差などである。油壺験潮場に対する伊東験潮場の隆起は継続している。また、伊豆地方各験潮場間の月平均潮位差においても、伊東験潮場の隆起が引き続き認められる。

---

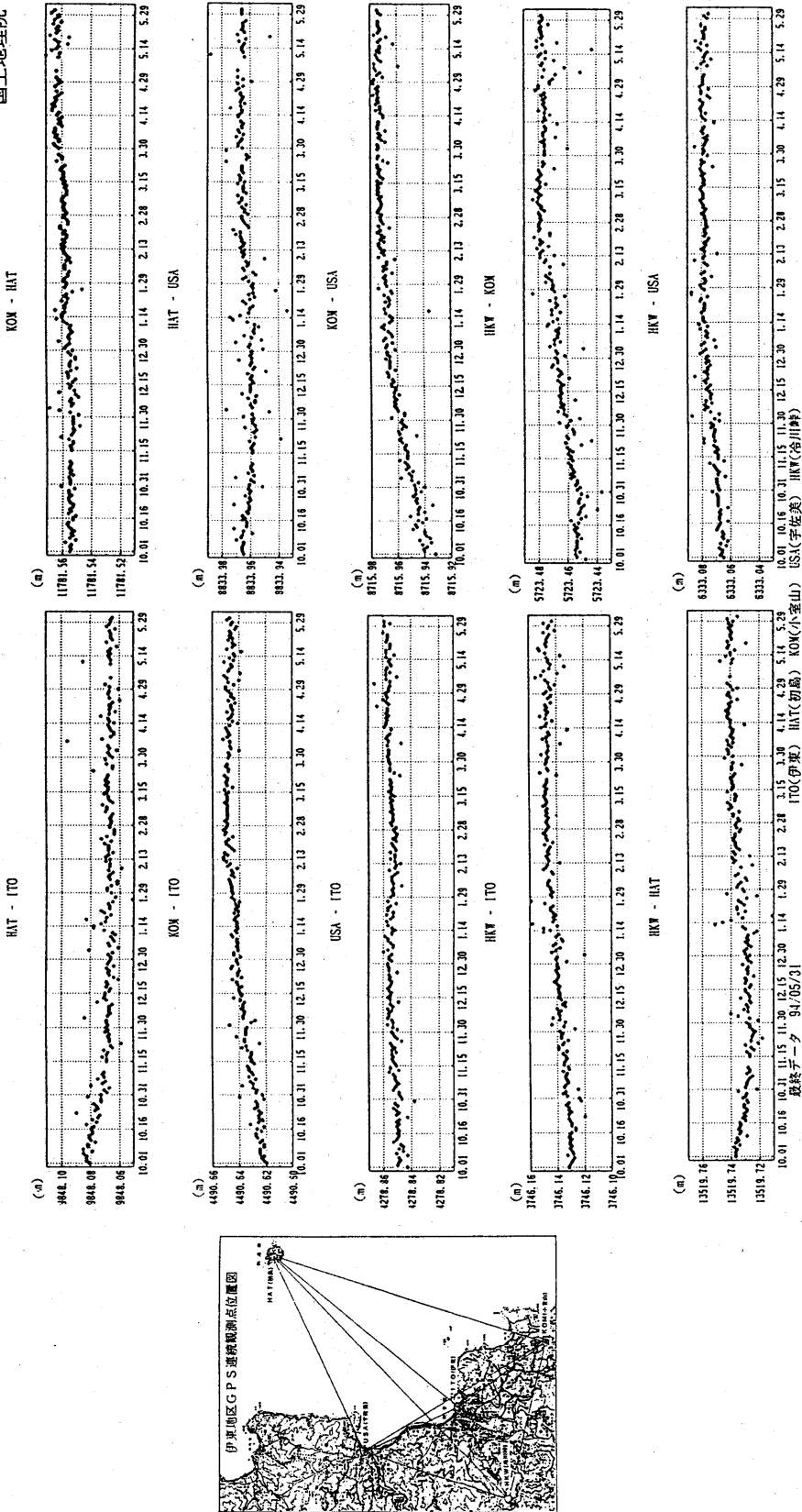
\* Received 1 Aug., 1994



第 1 図 伊豆半島の上下変動 1993.11-94.2~1993.6-8  
Fig. 1 Vertical crustal movement in the Izu Peninsula

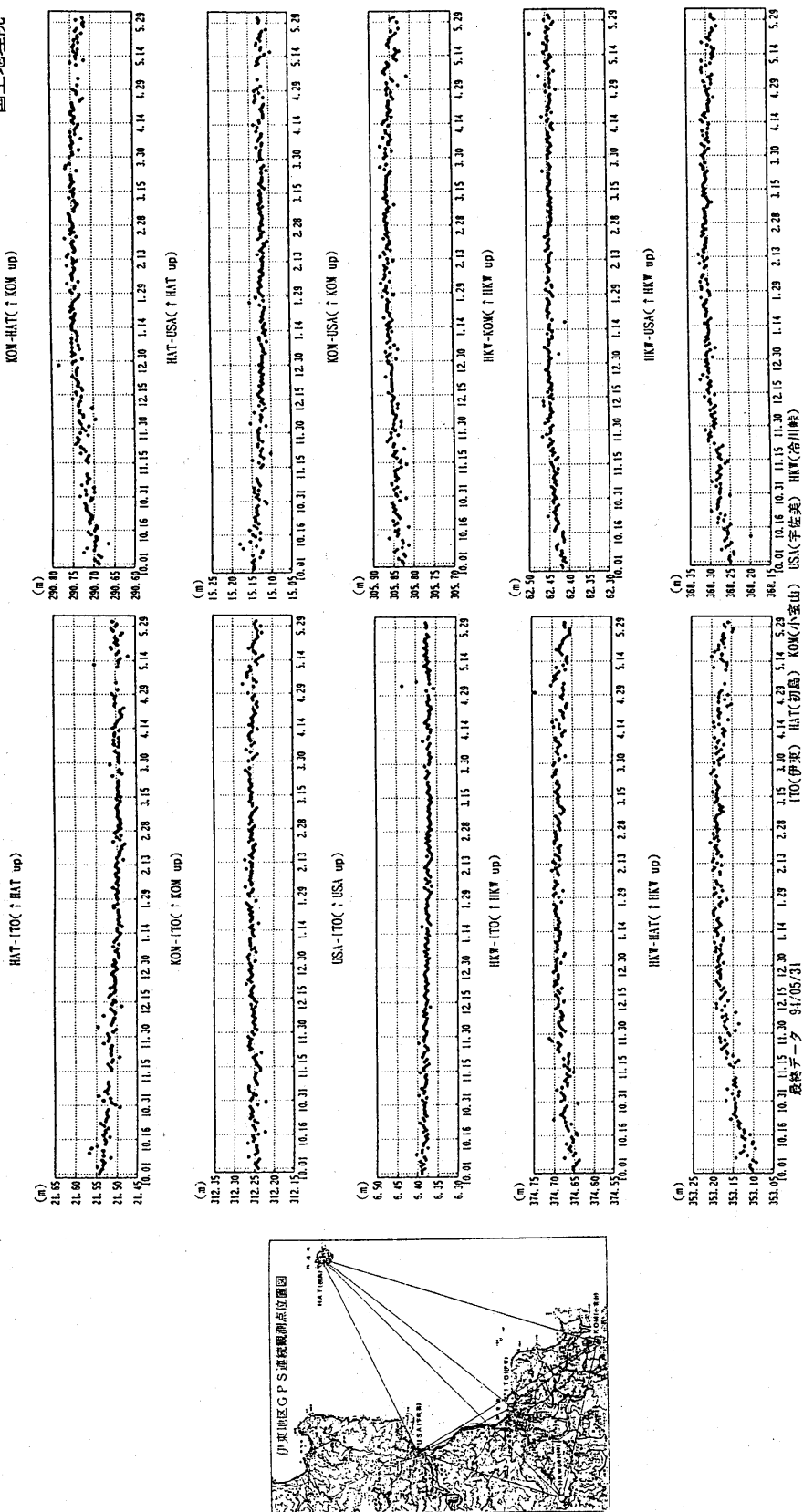


第 2 図 GPS、光波測距儀による伊東市周辺の距離連続観測結果 (日平均)  
Fig. 2 Continuous distance change observation with GPS and EDM around Ito City  
(daily mean).



第 3 図 伊東地区GPS観測結果 (辺長)

Fig. 3 Continuous distance change observation with GPS around Ito City.



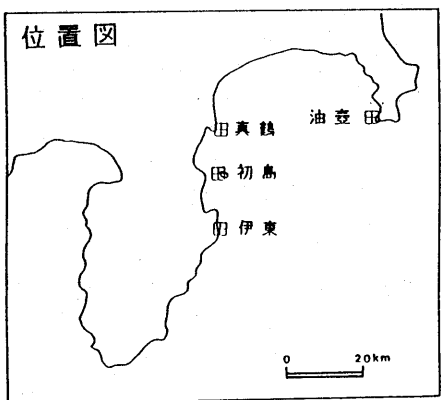
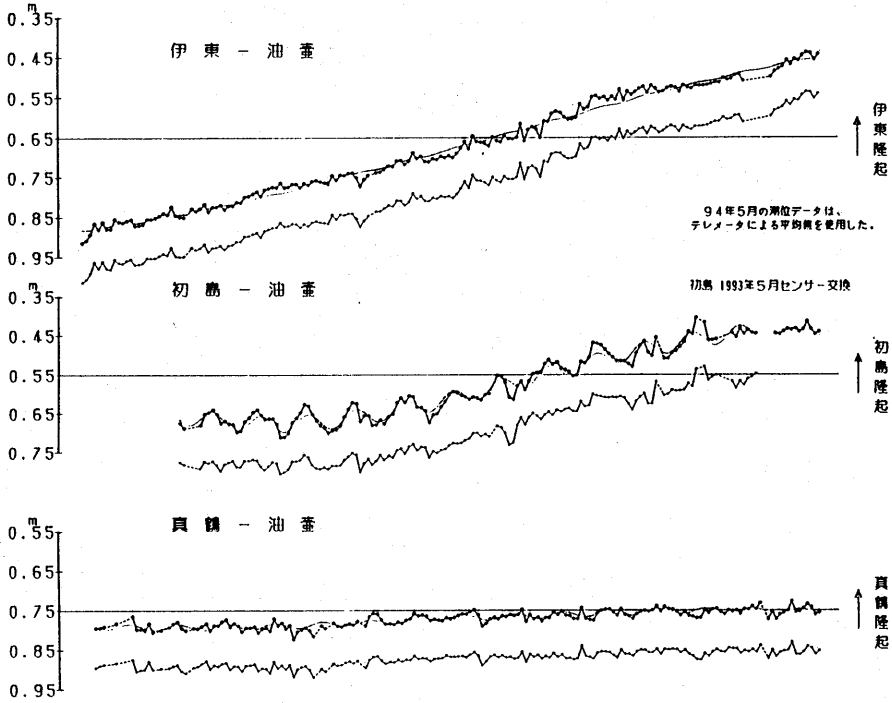
第 4 図 伊東地区 GPS 観測結果 (比高)

Fig. 4 Continuous height change observation with GPS around Ito City.

伊東・油壺・初島・真鶴各験潮場間の月平均潮位差

海洋昇降検知センター  
「潮位年報」による。

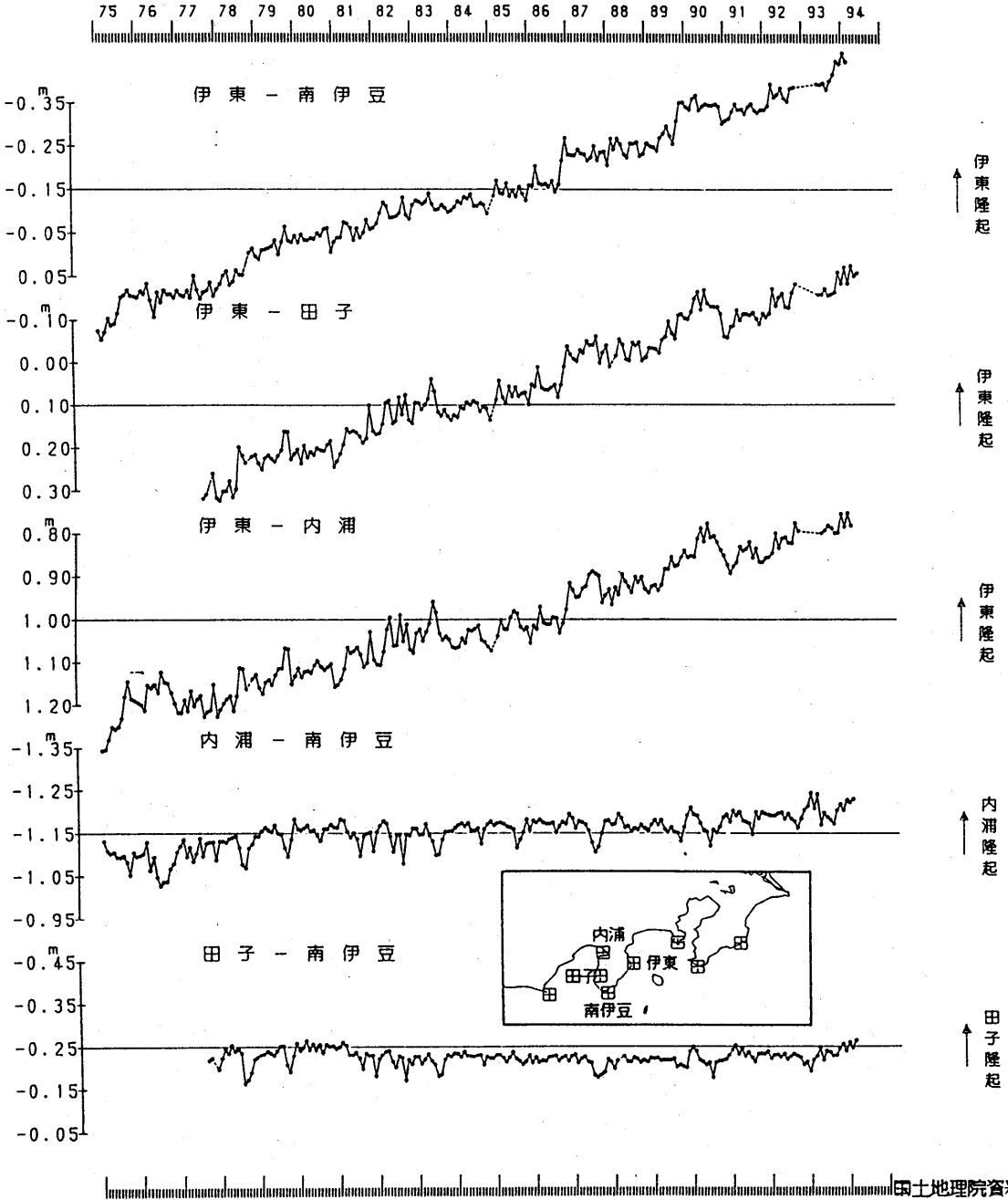
1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994



国土地理院資料

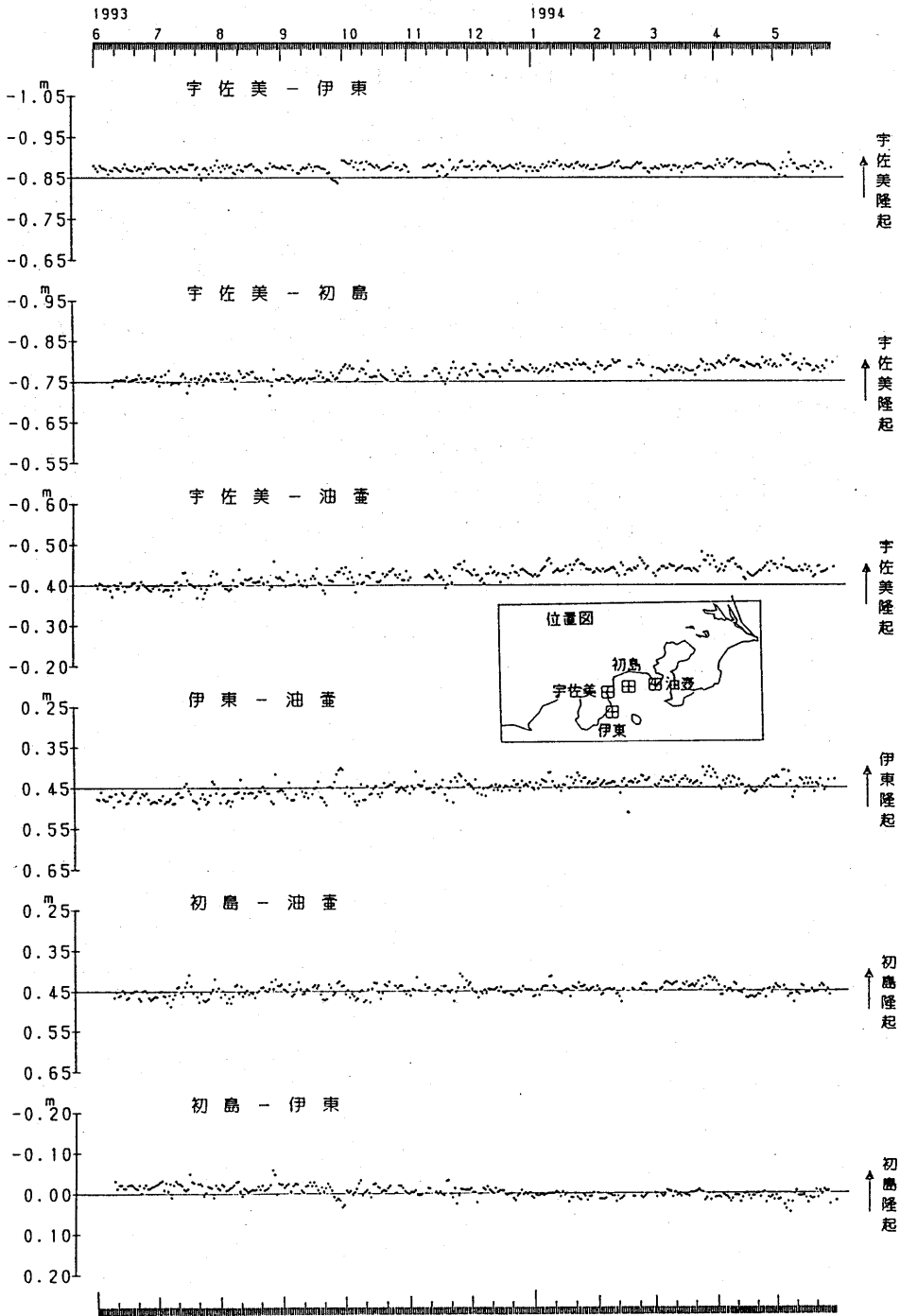
上段：観測値および近似曲線  
下段：年周変化を補正した値

第 5 図 伊東，初島，真鶴，油壺験潮場間の月平均潮位差  
Fig. 5 Differences in monthly mean sea levels between the Ito, the Hatsusima, the Manazuru and the Aburatsubo tide station.



94年 5月の潮位データは、  
テレメータによる31日までの  
平均値を使用した。

第 6 図 伊豆地方各験潮場間の月平均潮位差  
Fig. 6 Differences in monthly mean sea levels between the tide stations in the Izu district.



国土地理院資料

第 7 図 宇佐美, 伊東, 初島, 油壺験潮場間の日平均潮位差  
 Fig. 7 Differences in daily mean sea levels between the Ito, the Hatsusima, the Usami and the Aburatsubo tide station.